

二〇二二年度

国

語

(A1日程)

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部省略した部分があります。)

友だちは孤独こどくに対する不安を埋めてくれる存在ですが、それだけではありません。

親友を持つ意義は他にもたくさんあります。

まず、親友は自分を客観的に見てくれる存在だということです。

どんな人でも自分の行動や考えが正しいかどうか迷うときがあると思いますが、親友は、自分がやっていることに対して他の人がどう思うのかというモニターモニターの機能を果たしてくれる存在になります。

現代アメリカでもっとも人気のある精神分析理論ぶんしんりろんである、自己心理学の創始者ハインツ・コフートは、人間には、同じ人間のだと感じさせてくれる双子ふたごのような存在が必要だと晩年になって主張しました。

自分が仲間はずれにされているときとか、自分の考えが異常なのではないかと不安に感じるときに、私だけはあなたの仲間だよとか、私も同じ考えだよと言ってくれる親友が一人でもいれば、自分も同じ人間なんだ、自分は異常ではないと思えて、生きることに自信が持てます。

このようにありのままの自分を受け入れてもらうことで、ほかの人と付き合うときに、自分はおかしいかもしれないという不安を感じなくて済むようになり、人間関係が広がっていくのです。

もちろん親との関係性も非常に大事ですが、自分の心身の変化が激しい思春期には特に、お互いたがの関係性が公平な親友が大切だと私は思っています。

けんかをして決定的な仲間割れにはならないような親友が1人でもいれば、本音を言い合うことができます。本音を言い合うことができれば、「自分はこのままでいいのだ」という安心感を持つことができます。

そうした親友は、あなた自身が気づかなかった長所や取り柄とらえを見つけてくれることもあるでしょう。

また、親友はいざというときに精神的な支えになってくれる存在でもあります。困ったときに声をかけてくれるような存在です。

このように考えてみると、一般的には友だちも持たないような一匹ひとひきタイプタイプの人のほうが自由に生きられるというイメージがあるかもしれませんが、実際には一匹ひとひきタイプタイプの人間よりも、親友がいる人のほうが自分らしく、つまり自由に

生きられるのではないかと思うのです。

A、親友はどんな人でもいいのかといえば、それは違います。

孤独への不安があると同時に、私たちは「ありのままの自分でいたい」「自分の好きなように生きたい」という願望も持っています。

B、自分のちよつとした言動で相手を怒らせたら大変なことになるという関係性の人とは安心して話すことができませぬよね。いつも相手に嫌われないように気を遣っている状態では、精神的にも疲れてしまいます。

そうかといつて、こちらの言葉に何でも「いいね」しか言わないような友だちであれば、この人は自分のことをきちんと見てくれているのだろうかと心配になってしまいうでしょう。

自分も相手も、ある程度は本音で話せて「素」の自分であることが許され、いいときにも悪いときにも正直に言ってくれて、お互いに困ったときには支えになるような存在。それが本当の親友といえます。

また、先ほど人間の本能の話をしましたでしたが、これは「たくさんの人と仲よくしたい」ということとは違います。

むしろ、たくさんの友だちがいても、それぞれの人としつかり向き合えていない場合は、相手の本音もわかりません。

たぶん今のところはたくさんの友だちに好かれていると思うけれど、実際にはその確信はない、今後もどうなるかわからないという状態であれば、人間関係に不安を感じてしまうのは当然です。

そこで、「友だちみんなに嫌われないようにしておこう。そうすれば安心していられる」という発想になります。

そのせいで、うかつなことは言わないようにしようとか、それほど興味もないのに、みんなが見ている YouTube や動画をチェックしておこうとか、SNS でこまめに返信しなきゃいけないとか、とにかく「やらなければいけないこと」が増えて、精神的に疲れてしまうのです。

その反対に、親友だと思える人の数が1人、あるいは2人程度であっても、それぞれの相手としつかりと向き合えていて、相手のことを信じられるなら、人間関係のしんどさはそれほど感じていないはずですよ。

自分も相手のことを深く信頼できているし、相手も自分のことを嫌いではないという確信があれば、多少うかつなことを言っても相手を怒らせたとしても、仲間はずれまではされないだろうと思えるからです。

つまり、人は本当の自分のことをわかってくれない友だち⁴が100人いるよりも、本音を話せるような親友が1人でもいれば安心できるということです。友だちの数が多或少ないかよりも、気が知れている人がいるかどうかの問題なのです。

ところが、自分にとってどうでもいいような友だちでも単純にその数が減ることを怖^{こわ}がっているのが、今の子どもたちの問題ではないかと思っています。⁵

(出典 和田秀樹『みんなに好かれなくていい』小学館による)

問一 〰線 a 「決定的」は「決定+的」という組み立てになっています。これと同じ組み立ての三字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 上中下 イ 不安定 ウ 安全性 エ 反比例 オ 低姿勢

問二 〰線 b は「集団を離れて単独で行動する人」という意味を表す熟語です。 に入る一字を次の中から選び、

記号で答えなさい。

- ア 犬 イ 猫^{ねこ} ウ 馬 エ 狼^{おおかみ} オ 鳥

問三 A・Bに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア AⅡしかし BⅡところで
イ AⅡでは BⅡたとえば
ウ AⅡだから BⅡもし
エ AⅡただ BⅡつまり
オ AⅡすると BⅡむしろ

問四 — 線1「人間には、同じ人間なのだと感じさせてくれる双子のような存在が必要だ」とありますが、そういえるのはなぜですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 精神的に支えてくれる親友がいれば、周りを気にせず好きなように生きていくことができるから。

イ 人間関係を広げていけば、ありのままの自分を受け入れてもらえるようになっていくから。

ウ 同じような関心や能力を持つ相手が近くにいることで、競い合きそいが生まれて成長できるから。

エ 自分の心身の変化が激しい思春期には、対等に話し合える関係の友人がいることが大切だから。

オ 関係性が公平な親友にありのままを受け入れてもらうと、自分は異常ではないと安心できるから。

問五 — 線2「親友はどんな人でもいいのかといえば、それは違います」とありますが、筆者はどのような存在を親友だと述べていますか。四十五字以内で説明しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問六 — 線3「人間関係に不安を感じてしまう」とどうなると筆者は述べていますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 嫌われないように、やらなければいけないことが増えて精神的に疲れてしまう。

イ 興味がなくても、みんなが見ている動画をこまめにチェックするようになる。

ウ 不安を消すために、たくさんの人と親友になろうと考えるようになる。

エ うかつなことを言わないように注意して、SNSの返信をするようになる。

オ 嫌われないように、いろいろな人としつかりと向き合おうと考える。

問七 — 線4「本当の自分のことをわかってくれない友だち」と対たいになっている表現を九字で抜き出しなさい。

ア たくさんの友だちを求めすぎて、信頼できる友人が一人もできないこと。

イ どうでもいいような友だちには、仲間はずれにされてもいいと感じること。

ウ 友だちの数は多い方がいいと考え、単純にその数が減ることを怖おそれていること。

エ たくさんの友だちから好かれているという確信が欲しくて、苦しんでいること。

オ 友だちの数は多い方がいいので、どんな人でも仲良くすべきだと考えること。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部省略した部分があります。)

安全確認^{かくにん}が終わり、ブザーが鳴る。音楽が流れて、木馬たちがゆっくりと動き出す。

「このメリーゴーラウンドにまつわる噂^{うわさ}がひとつあります」

こんなところでこんなことをのんびり喋^{しゃべ}っている場合ではないと思^{おも}いながらも、紗英はいつのまにか螢石西高(仮)^{ほたるいし}と同じように柵^{さく}につかまって木馬の動きを目で追っている。噂^{うわさ}といつても、これは香澄たちから聞かされたのではない。紗英が小学生か中学生の頃^{ころ}に、友人から教わった。

「二階部分に一頭だけ一角獣^{いっかくじゅう}がいます。それに乗ると願いが叶^{かな}うと言われています」

「願いが叶う」

螢石西高(仮)がゆっくりと繰り返して、目を細める。以前に食べたおいしいものを思い出しているような表情だった。

「あなたも乗ったことあるんか？」

「いえ、わたしは」

厳密に言うと、何度か試みたことはある。でもそのたびに同じことを考えているらしい誰か^{だれ}に突き飛ば^つされたり睨^{にら}まれたりして、断念してしまった。

わたしは 아닙니다、と紗英が小さな声で答えた時、背後で鋭い叫び^{さけ}声^{こゑ}がした。なにごとかと振り返ると、堀琴音がいた。同じくフードコートの制服を着たもうひとりの女の子となにごとかを言い争っている。

(中略)

「違う」とか「待って」とかいう声^{こゑ}がこちらまで聞こえてくる。おもに名のわからないほうの子が怒^{おこ}っていて、堀琴音が懸命^{けんめい}に宥^{なだ}めているようにも見^みえるが、真相^{まこと}は謎だ。バイト同士のケンカはめずらしいことではない。若い女の子同士ならなおさらだ。紗英にも経験がある。

もしわたしがあの子だったら。容姿端麗^{ようすたなれい}な同性に会^あうと、いつもそう考える。あの子みたいにかわいかったら、もつと違う人生があったのだろうか。

1 「わたしね、ほんとうはわかってるんです」

柵をつかむ手に力がこもった。蛍石西高（仮）は聞いているのかいないのか、まだ木馬の動きを目で追いつけている。

もし何々だったなら、なんてことばかり考えている人間には永遠に無理なのだ。望みを実現することなど。「なにがなんでも」という気持ちだが、いつだって欠けている。どんな手段を使っても一角獣を勝ち取る者、あるいはくじけずに何度でも挑戦する者だけが目的地に辿りつける。なんの努力もせずになにかにただほんやりと憧れているだけの者は、どこにも行けない。

演劇サークルに所属し、地道に端役をこなす日々はそれなりに楽しくはあったが、同時に「なんとなく違うかも」を積み上げていった日々でもあった。セリフを練習している時も、友だちと昼食をとっている時ですら「違うかも」がつきままとった。最初は砂粒ほどだった違和感は、一年もしないうちに無視できないほど大きくなった。

違うかも、という気持ちは「木村幹は映画のオーディションで『カラスの真似をしてください』と言われた際に口でゴミ箱を倒してゴミを食べたことがある」という逸話を知り、確信に変わってしまった。漠然と「舞台に立つような仕事につけたらいいな」と夢想するだけの者は、実際に行動する者には一生かなわない。夢をあきらめたとか、挫折したとかいう言葉さえも似合わない。そんなふうに見えるのは、ちゃんと挑戦したことのある人間だけだ。

今はただ「ずいぶんほんやりと人生を歩いてきてしまったな」というにぶい痛みだけが胸に残る。

音楽が止み、『フロアライト・スターダスト』が回転を止める。安全な退場を促す三沢のアナウンスがはじまった。

蛍石西高（仮）がなにか言いかけた時、背後で風がおこった。突風ではない。**A**と肌を撫でるような、やわらかい風だった。

「ああ、やっぱここにおったん、おじいちゃん」

3 蛍石西高（仮）が紗英に視線を向けて「な、来たやろ」と顔をほころばせている。

「えっ」

立っているのは幼児ではなかった。二十代とおぼしき青年だった。蛍石西高（仮）がその青年の背中をばしっと叩く。

「これ、うちの孫」

「え、あの写真の子……?」

蛍石西高（仮）が写真を取り出して、紗英の鼻先すれすれにかざす。いやだから近いなんて、と呆れながら頭を反らした。「こいつ、昔からまったく顔が変わってへんねん、かいらしいなあ、なあ」

なあ、などと同意を求められても困る。

「そんな昔の写真持ち出して」

ため息をついた青年が、紗英に向き直って深く頭を下げた。

「ほんとにうちの祖父がすみません」

言いたいことは山ほどあるが、声が出ない。へへへ、と笑っている蛍石西高（仮）と青年を交互に眺める。なんなんこの人たち。というかおにも爺のほう。なんなん？

ずっとからかわれていたのだろうか。いや蛍石西高（仮）は「孫とはぐれた」としか言わなかった。写真を見せられた紗英が勝手に孫が幼児であると勘違いしただけで、ひとつも嘘はついていない。

「このお嬢ちゃんが、ずっと案内してくれてたんやで」

べつに案内はしていない。 **B** 歩きまわるあぶなつかしい老人を追いかけていただけだ。

「ありがとうございます」とまた頭を下げる青年に「いいえ」と短く答える。

「ゆう、このお嬢ちゃんはすごいぞ。なにを訊いてもちゃんと答えてくれる。遊園地のことなんでも知ってる。すごいんやで」

ゆう、とはこの青年の名前だろうか。もちろん「you」と呼びかけるジャーニー喜多川スタイルを採用している可能性もあるが。

ゆう、ゆうと連呼しながら蛍石西高（仮）は「どうだ」というように **C** を張っているが、べつに蛍石西高（仮）がすごいわけではない。

かといって自分がすごいわけではないことも、紗英はわかっている。

「仕事ですから」

ただなにかを覚えるのが得意なだけだ。すぐくなんかない、と **C** の内で呟きながらも、紗英の背筋はわずかに伸びる。

「そしたら行こうか、おじいちゃん。クレープ食べたかったんやろ？」

「おお、そうそう」

ほんまにありがとうな、と紗英を振り返る蛍石西高（仮）に向かって、笑顔で答えた。

「いえ、仕事ですから」

もう一度その言葉を繰り返したら、背筋がさらに伸びた。そうだ。これはわたしの仕事なんだ。

「おじいちゃん、勝手にうろちよろしたらあかんで」

「すまんすまん」

人騒がせな彼らが去った直後に、またやわらかな風が吹いた。秋の匂いがする空気を、深く吸いこんで、ゆっくり吐き出す。背筋が伸びても視界が劇的に変わるわけではない。それでも、目にうつるものの輪郭が今までよりすこし鮮明になったように感じられる。そのことにほんのすこしの勇気を得て、紗英はインフォメーションに向かって早足で歩き出す。

(出典 寺地はるな『ほたるいしマジカルランド』ポプラ社による)

注1 蛍石西高(仮) : 胸のところに「蛍石西高」と書かれた緑色のジャージを着た老人。紗英は自分の中でこの老人のことを仮に「蛍石西高」と呼ぶことにした。

問一

A・Bに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア A || ひやり B || のしのし
- イ A || ふわり B || ふらふら
- ウ A || からり B || ゆらゆら
- エ A || じわり B || そろそろ
- オ A || びたり B || きびきび

問二

Cに共通して入る体の部位として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 頭
- イ 目
- ウ 胸
- エ 腰
- オ 手

問三

~~~~線 a「うろちよろ」とありますが、次の  に漢字をそれぞれ一字ずつ書き入れて、「うろたえたりまごついたりして、行方が定まらないこと」を意味する四字熟語を完成させなさい。

往  往

問四 — 線1「わたしね、ほんとうはわかってるんです」とありますが、どのようなことを分かっているのですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア もし何々だったらと想像することから、夢を叶えるための一歩が始まるということ。  
イ くじけずに何度でも挑戦する姿勢を持てば、夢は必ず実現できるということ。

ウ 容姿端麗な人ほど周りの協力を得られるので、簡単に目標を達成できるということ。

エ 地道な日々の積み重ねを楽しむことができれば、目標達成に近づくとということ。

オ 絶対によりとげようという気持ちがないと、望みは実現できないということ。

問五 — 線2「なんとなく違うかも」とありますが、これと同じ意味の言葉を本文中から漢字三字で抜き出しなさい。

問六 — 線3「えっ」とありますが、紗英はどのようなことに驚いたのですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で

答えなさい。

ア 蛍石西高(仮)とはぐれていた孫が、幼児ではなく青年であったこと。

イ 蛍石西高(仮)と青年は、普通ふつうに待ち合わせをしていただけだったこと。

ウ 目の前の青年が蛍石西高(仮)の写真に写っていた子と似ていたこと。

エ 蛍石西高(仮)の孫が、あまりにもしっかりと受け答えをしたこと。

オ 孫が迷子になったというのは、ゆうと紗英を合わせるための嘘うそだったこと。

問七 — 線4「背筋がさらに伸びた」とありますが、このときの紗英の気持ちを四十字以内で説明しなさい。(句読点等記号も一字に数える。)

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① チョウレイを行う。
- ② セイランナーに選ばれる。
- ③ 数種類の糸でオる。
- ④ 急にデンアツが低下した。
- ⑤ かぜ薬をノむ。

問二 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 歩道を整備する。
- ② 眼鏡がよく似合う。
- ③ 友達の誕生日を祝う。
- ④ 田園風景が続いている。
- ⑤ 戦国の世を統一する。

|                                                               |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
|---------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------|----|----|--|----|----|----|--|--|----|----|--|--|----|--|--|--|--|---|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三</span> |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">二</span> |    | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一</span> |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| 問二                                                            | 問一 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 問八                                                            | 問七 | 問六                                                            | 問五 |    |  | 問三 | 問一 |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| ①                                                             | ①  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 100px; height: 40px;"></td> <td style="width: 40px; height: 30px;"></td> <td colspan="2" style="width: 100px;">往</td> <td style="width: 40px; height: 30px;"></td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問二</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問四</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問二</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 40px; height: 30px;"></td> <td colspan="2" style="width: 100px;">往</td> <td style="width: 40px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問六</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問四</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> <td colspan="3" style="width: 180px;">問二</td> <td style="width: 60px; height: 30px;"></td> </tr> </table> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               | 往  |    |  |    | 問二 |    |  |  | 問四 |    |  |  | 問二 |  |  |  |  | 往 |  |  | 問六 |  |  |  | 問四 |  |  |  | 問二 |  |  |  |
|                                                               |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               | 往  |    |  |    | 問二 |    |  |  | 問四 |    |  |  | 問二 |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
|                                                               |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               | 往  |                                                               |    | 問六 |  |    |    | 問四 |  |  |    | 問二 |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| ②                                                             | ②  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| ③                                                             | ③  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| ④                                                             | ④  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |
| ⑤                                                             | ⑤  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                               |    |                                                               |    |    |  |    |    |    |  |  |    |    |  |  |    |  |  |  |  |   |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |    |  |  |  |

名前は書かないように

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|

右につめて書いて下さい

